

令和6年度の学校評価

| <p>本年度の 重点目標</p> | <p>1 授業、HR 活動、部活動、委員会活動など学校生活のあらゆる場面において、生徒が前面に出る教育活動を行い、生徒が主役の学校づくりを行う。</p> <p>2 知識技能中心の授業に偏重せず、思考力・判断力・表現力を高める授業を積極的に行いながら「分かる授業」「自律的な学習者の育成」に努める。</p> <p>3 時代に合った生徒指導の実現を目指し、生徒・PTA を交えた校則の見直しが行える仕組みづくりを行い、生徒の心理的安全の確保が出来る学校風土の土台を作る。</p> <p>4 開かれた学校づくり実現のために、学校 HP の充実や外部団体・地域との関わり深めるなど、校内に留まらない教育活動の活性化と広報活動に取り組む。</p> | | | |
|----------------------|--|--|---|---|
| 項目(担当) | 重点目標 | 評価 | 具体的方策 | 評価結果と課題 |
| <p>総務部</p> | <p>1 日進西高校安心メールの活用 2 P T A 研修会の検討</p> | <p>B A</p> | <p>1 保護者・生徒にメール登録を依頼する。 2 PTA 研修会の内容を検討し、多くの会員の方に参加してもらえるように企画する。</p> | <p>1 多くの保護者の皆様には登録をいただいたが、生徒本人の登録が多くないため、今後も登録を呼びかけていきたい。 2 いろいろなご意見を出していただけた。次年度もアイデアを出しながら楽しい企画をつくっていきたい。</p> |
| <p>教務部</p> | <p>ICT を活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業及び評価を行う。</p> | <p>A A A</p> | <p>1 探究的な学習活動推進教員を募り、実践事例の蓄積を継続する。 2 昨年度のあいちラーニング推進事業の成果を踏まえ、主体的な学習に取り組む態度についての評価をよりよいものとしていく。 3 学年及び進路指導部と協力し、地域貢献を位置づけた探究活動を計画・実践していく。</p> | <p>1 今年度も継続して各教科の実践事例の蓄積及び教科内での共有ができた。 2 成績確認日を設け、評価の妥当性・信頼性を高められるよう振り返りを行っている。 3 今年度、市内の2 中学で成果発表会を行うことができた。</p> |
| <p>生徒指導部</p> | <p>1 指導の定着 2 生徒の安全確保 3 いじめ未然防止に係る取組の充実、いじめの早期発見、適切な事案対処 4 生徒の主体的・自主的活動を支援</p> | <p>B C A B A B</p> | <p>1 遅刻防止指導、身だしなみ指導などについて、全教員による指導の定着を目指す。 2 防犯に対する意識を高めるとともに通学路の危険箇所についての周知を図り、立ち番指導については PTA とも協力して行う。 3 講話などを通して、生徒に、自分自身が集団で果たすべき義務、責任を理解させる。 4 日常の生徒観察、健康調査、いじめ、生活アンケート等で情報収集を行い、事案対処に係る各組織の役割を具体化する。また、生徒、保護者にそれを周知する。 5 生徒会が主体となり、生徒議会を通して、生徒が各行事に主体的に取り組めるように促す。 6 生徒指導部が、部長連絡会を通して各部活動を統括し、各部の主体的な活動を促す。</p> | <p>1 学校全体で指導を行うことはできたが、全体指導や個別指導などを通して生徒に何を気づかせ学ばせるのか、柱となる部分について生徒指導を中心に考察したい。 2 PTA と協力をして0 の日立ち番を行った。登校中のマナーについては、少しだけ改善をしたが、交通事故等の報告が0 になったわけではないので、次年度以降も継続的に呼びかけたい。 3 年に3 回講話を実施し、内容も比較的良かったと感じている。全生徒向けになるため、取り組める内容に限界はあるが、生徒がただ話を聞くだけにならないように工夫していきたい。 4 生活に関するアンケートを実施した。生徒指導に関する事案の時は、担任から連絡をし、家庭との連携をはかるよう努めてきた。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | <p>5 年間を通して、生徒会を中心に活動することができた。球技大会では種目の変更に向けて議論を重ね、アンケートを実施することができた。期限ぎりぎりになることもあったため、もう少し余裕をもって活動させたい。</p> <p>6 部長会を定期的に関き、防犯意識を高めることや環境整備等について取り組むよう伝えることができた。</p> |
|--|--|--|--|--|

| 項目(担当) | 重点目標 | 評価 | 具体的方策 | 評価結果と課題 |
|--------|---|--|---|---|
| 進路指導部 | <p>1 在り方生き方についての自覚と自己を生かす能力の育成</p> <p>2 勤労観・職業観に基づく進路意識の向上と自ら学ぶ意欲と態度を育て、生涯学び続ける姿勢の育成</p> <p>3 学習習慣を身につけさせ、生徒の基礎学力向上を図り、自己の進路目標を実現していく力の育成</p> | <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> | <p>1 キャリア教育の充実</p> <p>2 進路目標の具体化</p> <p>3 自己を振り返る機会の充実</p> <p>4 進路学習会・補習の充実</p> <p>5 学びの基礎診断や模擬試験、検定など結果の有効活用</p> | <p>1 1日看護体験・私立幼稚園体験などの実習を通じて、勤労観・職業観の育成を図ることができた。2年生では総合的な探究の時間を用いて「企業探求プロジェクト」を実施し、日進市に関わりのある企業・団体がどのように社会と関わりを持ち、貢献しているか理解を深めることができ、企業が直面している課題、地域の課題を発見し解決方法等の探究を行えた。</p> <p>2 生徒および保護者に対し、系統別ガイダンス・模擬授業や進路説明会・講演会などを計画的に実施し、進路に関する学びの機会や情報を提供でき進路目標の具体化に役立てることができた。</p> <p>3 学びの基礎診断、模擬試験、進路行事を通して自己を振り返る機会を増やすことができた。</p> <p>4 進路学習会・補習の充実を図るほかに、進路学習の資する書籍の教室への配本、進路閲覧室の環境整備を整え生徒の進路意識の向上に努めることができた。</p> <p>5 学びの基礎診断においては基礎学力の確実な習得とそれによる学習意識の喚起に繋げることができた。また、模擬試験においても学習活動の成果を確認し、当該学年・教科と連携し、さらなる学習に繋げることができた。</p> |

| | | | | |
|----------|---|----------------------------|---|--|
| 保健部 | 心身共に健康で明るく日常生活を営むための基本的な資質・能力を養う。 | A B A B | <p>1 安心・安全な学校生活を送れる環境を整備する</p> <p>2 スクールカウンセラーを活用し、教育相談委員会の内容を充実させる。</p> <p>3 災害発生時における学校対応を周知させる。</p> <p>4 清掃用具の整備と美化委員の活動を活性化させる。</p> | <p>1 安全点検を活用して環境整備に努めた。改修工事によって教室に安全柵が設置された。</p> <p>2 スクールカウンセラーについて、教育相談委員会で得た情報から積極的な利用を勧めたが十分ではなかった。不登校状態になる前に利用させたい。</p> <p>3 職員の対応を意識した防災訓練を計画し実施した。</p> <p>4 清掃道具の整備は行ったが、美化委員の仕事は例年通りのカーテン洗濯であった。</p> |
| メディア・研修部 | <p>1 読書への関心と図書室利用の向上</p> <p>2 委員会活動の活性化</p> <p>3 ICT教育の向上</p> <p>4 教員のセキュリティ意識の向上</p> <p>5 教員の基本的スキルの習得</p> <p>6 備品管理とシステムの保守</p> | B B B A B A | <p>1 新入生への図書指導に加え、読書への関心を高める。</p> <p>2 図書当番、お薦め本の執筆、読書会の実施、ポップ作り、蔵書の整理などを行う。</p> <p>3 視聴覚機器を整備し、視聴覚教室利用の活性化を図る。</p> <p>4 愛知県立学校情報セキュリティポリシーや本校の情報セキュリティ実施手順を周知する。</p> <p>5 不慣れな職員が抵抗なく情報機器を取り扱えるよう案内する。</p> <p>6 サーバ等のシステムや備品の保守・管理を徹底する。</p> | <p>1 貸出数は増加には転じなかったものの、各学年で積極的に図書室の利用をする生徒がいる。</p> <p>2 図書館の基礎的な機能の整備に努めた。図書委員の活動の活性化を考えたい。</p> <p>3 校舎改修工事の影響があり、視聴覚の用に供する特別教室が普通教室に転用された。次年度以降も改修工事が予定されているので、可能な限りの活用を考える。</p> <p>4 システム更改に係る研修を行った。セキュリティリスクに係る事故は発生していない。</p> <p>5 ICT 支援員による個別支援や全体研修を行い、教室での活用が広がりつつある。</p> <p>6 システム更改に起因する事故、物品の亡失事故ともに発生せず、おおむね良好に運用できている。</p> |
| 1 年 | <p>1 基本的な生活習慣の確立</p> <p>2 基礎学力の定着、学習環境の整備</p> <p>3 自主性、自律性を育てる</p> | A B A | <p>1 規則正しい生活、高校生らしい身だしなみをするように指導する。</p> <p>2 充実した授業を展開し、自ら学び深める家庭学習習慣を確立させる。また、学習環境の整備を意識させる。</p> <p>3 自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成を図る。</p> | <p>1 基本的な生活習慣の身についた生徒が多く、身だしなみの大きな乱れなく一年を終えることができた。</p> <p>2 授業に集中して取り組めてはいるが、定期考査の結果を鑑みると家庭学習習慣はじゅうぶんに身につけさせるにはもう一工夫必要だったと感じている。</p> <p>3 さまざまな場面で多くの生徒が積極的に自分で考え行動できている。今後も自ら考え、行動できるきっかけ作りをしていきたい。</p> |

| | | | | |
|------|--|---|--|---|
| 2年 | <p>1 基本的な生活習慣を維持させる。</p> <p>2 行事等、集団生活を通して共同性を養う。</p> <p>3 自主自律自学の精神を育む。</p> | B A A | <p>1 学校生活を大事にするように指導する。</p> <p>2 修学旅行などの学校行事や部活動などを通して、集団として行動するように促す。</p> <p>3 目標を設定させ、補習や家庭学習に取り組むように促す。</p> | <p>1 遅刻生徒に対して、担任・指導部の先生を中心に個別対応をしながら丁寧に指導できた。</p> <p>2 修学旅行では、分散計画やプレゼンテーションなど生徒が主体的に活動する機会を設けることができた。</p> <p>3 総合的な探究の時間の新学部学科提案プロジェクトや企業探究プロジェクトを通じて、進路キャリア研究での視野を広げさせることに努めた。今後も進路意識を高める指導を継続していきたい。</p> |
| 3年 | <p>1 基本的な生活習慣を維持させる。</p> <p>2 より高い進路目標の設定と学力伸長を援助する。</p> <p>3 自啓自発の実践。</p> | B B A | <p>1 授業、平常補習、学習会などを活用し、学習中心の生活習慣を身に付けさせる。</p> <p>2 模擬試験を活用し、面談を繰り返しながら進路目標を設定させる。</p> <p>3 総合的な探究の時間を活用し、自己の進路実現に応じた探究講座を選択させ、実践させる。</p> | <p>1 授業、補習に向かう姿勢の部分では頑張れた生徒が多かったが、受験が近づいた時期の欠席の多さが目立った点が残念であった。</p> <p>2 検討会を繰り返し、より高い目標設定やより確実な目標設定等に向けた助言をすることができた。ただ、やはり家庭や塾の助言により重きを置く生徒もいた。</p> <p>3 学年団の先生方にご協力いただき、生徒の進路に合わせた講座を開講することができた。</p> |
| 総合評価 | | <p>12月にインフルエンザが猛威を振るった。感染症の予防が重要である。学校祭では新しくキッチンカーを今年度から大規模に採用し、PTA の取組として新しい流れができた。生徒指導では靴などの紛失が頻発した。ロッカーの鍵の徹底、貴重品の管理を徹底して行った。進路指導ではキャリア教育において複数の企業と連携することで社会に進む際に必要な知識や技能を感じ取ることができた。修学旅行では、複数の生徒が体調を崩し、やむを得ず途中で離脱する生徒が数名出てしまったが、旅行期間は天候も良く、各々の心に残る素晴らしい思い出となった。改修工事が秋で終わり落ち着いた学校生活を送ることができたが、来年度は中館の工事が予定されており、授業に支障が出ないように工夫が求められる。教職員の働き方改革では自動採点システムを大々的に取り入れて、大きな一歩となった。</p> | | |